

No.	開催場所	区分	意見・要望・質問等及び当日の対応	備考
1	安渡館	意見	建物、箱物（公共施設）で、利用者数や維持管理経費等の問題で見直したものはあるか。	(施設経営課)
		対応	市民生活に必要なもの、新体育館や病院などを除いて、基本的には新設は行わない方針。公共施設等総合管理計画において、すべての施設の現況の把握し今後の基本方針を決めている。中には既に廃止となった施設もある。	
2	安渡館	要望	資料にはナンバーリングをしてほしい。	(広報広聴委員会)
		対応	次回からそのようにする。	
3	安渡館	意見	市民の皆様が思い描く10年の理想像とはどういうものか。	(企画調整課)
		対応	むつ市総合経営計画で掲げているもので、元気の向上、暮らしの向上、教育の向上、安全の向上、魅力の向上の5つの基本柱で、市政の細部にわたった計画である。	
4	安渡館	意見	むつ市総合経営計画を作るときワークショップ等を開いたというが、開催時期等の広報はどうしていたのか。	(企画調整課)
		対応	広報むつ等を通じて案内をしている。	
6	安渡館	意見	国庫支出金、県支出金とはどういうものか。	(財務課) 国・県から使途が特定されて交付される資金のことで、総称して国庫支出金・県支出金という。これには、国・県が地方公共団体と共同で行なう事務に対して義務的に負担する負担金、国・県が政策奨励をして交付する補助金、国・県からの委託事務で経費の全額を負担する委託金の3つがある。
		対応	本来、国や県が行うべき事務事業などを、市が肩代わりして行うための負担金のようなもの。社会保障関連等。	
7	安渡館	その他	補正予算とはどういうものか。	(財務課) 当初予算成立後に生じた事由に基づき、追加・変更を行うために作成される予算である。
		対応	予算（当初予算）の調整後に生じた事由に基づいて、追加や変更等、調整される予算。	
8	安渡館	意見	除雪費が毎年のように多額の補正予算が組まれているのはどうしてか。	(土木課)
		対応	ここ数年当初予算で2億5千万予算立てしているが、実際には平均して5億前後必要となっている。一番の理由は財政上の問題。あと、除雪の予算実行の時期が年度末と言うことも有り、雪が少なかったとき、他事業への振り替えが難しくなる。	

No.	開催場所	区分	意見・要望・質問等及び当日の対応	備 考
9	安渡館	意見	原子力災害が起こったとき、どのような手段で避難すれば良いのか。	(防災安全課)
		対応	むつ市地域防災計画の中で原子力編として定めている。国や県と連携しての広域避難計画も陸上、海上避難等の手段や避難場所が細かく決められている。	
10	安渡館	意見	ハード面での道路整備も大事なポイントとなるが遅々として進んでいない。	(土木課)
		対応	むつ市、むつ市議会としても早期完成に向けて、国や県に粘り強く交渉を続けている。	
11	安渡館	意見	放射線から身を守るためのシェルター、あるいは避難場所はどうか。	(防災安全課)
		対応	放射線の量や距離、風向きにもよると考えられるが、一時的には屋内退避が基本になる。原子力発電所に近い南通り地区では、奥内小学校に放射性物質が侵入しない設備装置が整備されている。	
12	安渡館	意見	自主防災組織の講習が青森市や八戸市で行われるのに参加してくださいと言うが、何の支援もない。すべて町内会や自主防災会丸投げというのはいかがなものか。	(防災安全課) 参加者に応じて、市のバスを出すなどで対応したい。
		対応	実情を初めて知ったので、市当局と対応を含め良い方向性を目指して協議していきたい。	
13	安渡館	意見	自主防災組織の立ち上げ後のリーダーの育成や他組織との問題点を議論する機会もない。市にはもっと積極的に関与してほしい。	(防災安全課) 市としても何らかの取組を考えてまいりたい。
		対応	組織立ち上げ後のフォローアップについては重要課題として議会としても取り組んでいきたい。	
<p>【その他の意見・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに参加している人は同じ顔ぶれが多いように感じている。沢山の意見を聞くために、開催方法や時期、時間など工夫をしてほしい。 ・結成後の実のある訓練も含めて住民の防災意識が高まったか疑問。町内だけで何かやろうとしても難しい。市とか消防など専門機関に最初は引っ張ってもらいたい。 ・何か災害があったとき、公的な避難所や備蓄の食料など、連携に不安がある。 ・災害弱者等の名簿の取り扱いが難しい。いざというときに役立てられない。 				